

甲斐市立双葉東小学校 自己評価書

令和5年2月2日（木） 作成

校長 「竹野 貢造」 記述者 職名（教頭）「堀内 貴司」

学校教育目標 『やさしく かしこく すこやかに』

- (1) 心豊かで 思いやりがある子ども
- (2) 自ら学び 自ら考え 行動する子ども
- (3) 心身共に健康で安全な生活をめざす子ども

学校経営目標

- (1) 生きる力の育成 ～心の教育を基軸に「知・徳・体」のバランスよい育成～
- (2) 学校・家庭・地域の連携 ～開かれた信頼される学校づくりの推進～
- (3) 職員の資質の向上 ～教師こそ最大の教育環境であることを意識した実践～

学校経営の基本方針

- (1) すぐれた伝統を尊重し、児童や地域社会の実態を把握し、学校教育目標の具現化に努める。
- (2) 豊かな心の育成に向けて、豊かな人間性とその基盤となる道徳性を育てるために、研究・実践に当たる。
- (3) 確かな学力の定着に向け多様な指導方法を工夫し、日頃の教材研究を十分行い、学ぶ喜び分かる喜びを味わわせると共に、基礎・基本の確実な定着を図る。
- (4) 体力の向上、健康な身体づくりのために、体育の授業の充実、業間時間の外遊びの推奨、疾病・怪我から身を守る力の育成等を図る。
- (5) 児童集団の中に起こる様々な問題・課題に対して、子ども自らが気づき、解決に向け発言し、集団の向上・発展に向かって立ち上がる指導を通して、集団づくりを行う。
- (6) 不登校やいじめ等児童の課題に対して、担任一人だけの悩みとせず、学年体制、全校体制など組織的な対応のもとに適切な支援・指導を行う。
- (7) 教育課程の編成・実施・評価・改善のシステムを大切にし、それらが相互に働くように努める。
- (8) 学校の施設・設備、地域素材・地域の人材を活用し、幅広い教育活動を展開し、児童の生きる力の育成に努める。
- (9) 児童の安全確保と学校の安全管理の充実を目指して、教育環境を整備し、明るく楽しい学校づくりと児童の健康・安全教育を推進する。
- (10) 特別支援学級の経営及び特別な支援を必要とする児童の共通理解と適切な指導に努める。
- (11) 学校・家庭との信頼関係を大切にしながら、児童の良い点や課題について、共に考え合い育てるといった基本的な関係を踏まえて、適切に情報交換する。
- (12) 教職員は常に課題意識を持ち、常に前進・向上を求めて研修・実践に努める。
- (13) 教職員が互いに協力して、社会一般からの要請事項に応えられる職場環境作りに努めながら、子どもたちに向き合う教育活動に専念できるようにする。
- (14) 開かれた特色ある学校づくりを推進するために、学校の情報を的確に保護者・地域に発信しつつ、家庭や地域社会との連携や学校評価システムの効果的運用を図り、教育効果を高める。

本年度の努力点

- (1) 誰にでも居場所があり、学び合う学級集団づくりの実践
- (2) ICT等も活用した楽しく、わかりやすい授業の実践
- (3) いじめ、不登校、特別な支援を必要とする児童等への効果的な支援・指導の実践
- (4) 働き方への社会的要請事項をふまえた教育・職場環境づくりの実践
- (5) 安心安全な学習環境づくりの実践（感染症対策を含め、安心して学べる環境づくりの実践）

1 全体評価 回答 A：とてもそう思う B：そう思う C：ややそう思わない D：そう思わない E：わからない

【教職員】

○いくつかの設問において、否定的回答（C・D）が若干名あるものの、全設問における肯定的回答（A・B）の平均が96.4%であり、高い評価である。全教職員による学校教育目標の具現化に向けた取組がなされていると言える。

【保護者】

○全体的にB回答が多い。「PTA活動に参加していますか。」「お子さんは、宿題の他にも家庭で自主学習（学校からの指示は含む。但し、塾や家庭教師は、除く）をしていますか。」「お子さんは今住んでいる地域の行事に参加していますか。」「お子さんに、進んで読書するように言っていますか。」の設問は、約半数が否定的回答（C・D）なので、肯定的回答が多くなることを期待したい。

○学校の教育活動に関する設問では、肯定的回答（A・B）の平均が82.2%であり、多くの保護者が学校の教育活動に対して信頼を寄せているとうかがえる。

○家庭の教育活動に関する設問では、肯定的回答（A・B）の平均が70.3%である。さらに高くなることを期待したい。

【児童】

○肯定的回答（A・B）の平均が89.2%と高い評価であり、児童は生き生きと学校生活等を送っていると感じられる。

○学校生活に関する項目で、A回答の割合が80%を超えた設問は、「先生はよく勉強を教えてくださいませんか。（85.5%）」「こまったことがあったら、相談できる先生がいますか。（82.8%）」の2つである。すべての設問において、A回答の割合が多くなるとよい。

【保護者・児童】

<挨拶> ※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合

【保護者】「学校は、子ども達に学校以外でも挨拶をするように指導していると思う。

（77.0%）」

「ご家庭では、お子さんに進んで挨拶をするように言っていますか。（90.3%）」

「ご家庭では、家族で互いに挨拶をしていますか。（96.7%）」

【児童】「だれとでもあいさつをしていますか。（86.9%）」

・学校では、児童会活動で朝の挨拶運動に取り組んでいる。旗振り当番の保護者や地域の見守りボランティアの方々にも元気よく挨拶ができるよう、今後も継続して指導していく。

○家庭での生活において改善したい項目は、以下の通りである。

・「（お子さんは）家で、スマホ・タブレット・ゲーム機・パソコンを、学習以外で、一日あたりどのくらいの時間、使いますか。」の設問では、「2時間以上使っている。」と回答している保護者が37.3%（250人）、児童が45.6%（301人）ある。

・「（お子さんは）家で平日一日あたりどのくらいの時間、読書をしていますか。」の設問では、「全くしない。」と回答している保護者が37.4%（250人）、児童が21.7%（145人）である。

・「朝ごはんを食べて登校していますか。」

<保護者>「あまり食べていない。（15人）」「食べていない。（1人）」

<児童>「あまり食べていない。（23人）」「食べていない。（12人）」

・児童アンケート「月曜日から金曜日までは、何時くらいに寝ますか。」の設問では、「午後11時以降」と回答している児童が、30人である。

2 設問ごとの評価結果（達成状況・改善策）	
I 学校教育目標に関して・学校経営について	
達成状況	<p>○肯定的回答（A・B）の割合は、99.6%である。「学校教育目標」「学校経営」について、教職員全体の共通理解が図られ、教育活動が行われていると言える。</p> <p>・「あなたは、P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動を行っている。」の設問のみ、1人がC回答であり、他の質問は肯定的回答（A・B）が100%である。</p>
改善策	<p>◆「あなたは、P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動を行っている。」の設問では、A回答（60.0%）がB回答（37.8%）を上回っている。学校全体としてはPDCAサイクルがしっかり機能しているので、教職員一人一人にさらに意識して取り組ませていく。日々の教育活動が前例踏襲ではなく、子どもたちにとって意義あるものとなるよう、今後も反省をしっかり生かして、改善を図っていく。</p>
II 学校運営について（保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<p>○肯定的回答（A・B）の割合は、96.9%である。教職員それぞれが、双葉東小教職員の一人であると自覚し、協力して学校運営に参画していると言える。</p> <p>・「あなたは、他の教職員と連携して協働体制で、教育活動にあたっている。」の設問は、A回答が89.1%であり、最も高い割合である。教職員数が50名を超える大人数であるが、一人一人がチーム双葉東小の一員として取り組むことができている。</p> <p>・「あなたは、職務上『報告、連絡、相談、確認』を行っている。」の設問は、A回答が80.4%であり、高い割合である。何か問題が発生した時はもちろんのこと、何事も管理職に相談できる職場の体制が整っていると言える。</p> <p>・「あなたは、校内研究（研修）に主体的に関わっている。」の設問は、C回答が3人。</p> <p>・「あなたは、業務の効率化等の働き方改革を意識して職務にあたっている。」の設問は、C回答が3人。</p> <p>・「あなたは、危機管理マニュアルを（防犯、防災、事件、事故等）を理解している。」の設問は、C回答が2人。</p> <p>・「あなたは校務支援システム十分活用できていますか。」の設問は、C回答が1人、D回答が1人。</p> <p>・「あなたの学校は、よりよい学校運営に向けて、職員会議が機能的に行われている。」の設問は、D回答が1人。</p> <p style="text-align: center;">※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合</p> <p>【保護者】「お子さんにとって、学校は楽しいところだと思う。（90.1%）」</p> <p>【児童】「学校は楽しいですか。（93.2%）」</p> <p>・学校が、児童にとって好意的な場所となっている。</p>
改善策	<p>◆今年度の校内研究は、昨年度に引き続き、研究主題「主体的・協働的に学ぶ子どもの育成」、副主題「ICTの効果的な活用を通して」を掲げ、研究を行った。児童一人一台端末をどのように有効活用して授業を行ったらよいかについて研究を深めていき、充実した校内研究が行うことができたが、全教職員がさらに主体的に取り組むことができるように、今後も研究主任を中心に校内研究を推進していく。</p> <p>◆自然災害や事故、不測の事態の時に、迅速、的確に対処できるようにするためにも、定期的に「危機管理マニュアル」に目を通す機会を設ける。</p> <p>◆働き方改革を意識し、校務支援システムの有効活用、優先順位を決めての業務の遂行、会議</p>

	<p>の機能的実施等をいっそう推し進め、教職員が本来の業務に専念できる環境をさらに整えていく。</p>
<p>Ⅲ 学習指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）</p>	
<p>達成状況</p>	<p>○C回答が若干名いるものの、肯定的回答（A・B）の平均が94.6%であり、より良い授業を目指し、教職員一人一人が努力を重ねていると言える。A回答が、さらに多くなるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。」の設問が、A回答65.7%であり、最も高い割合である。 ・「あなたは、ICTを効果的に活用した授業を行っている。」の設問は、A回答32.4%であり、他の設問に比べて最も割合が低い。 ・「あなたは、協働的な学びを取り入れた授業を行っている。」の設問はC回答が4人、「あなたは、外国語、国際理解教育の学習が充実したものになるよう、努めている。」の設問はC回答が3人である。 <p>【児童】 ※「（%）」の数值は、肯定的回答（A・B）の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先生はよく勉強を教えてくださいか。」の設問は、肯定的回答（A・B）が98.6%（A回答85.5%、B回答13.1%）であり、とても評価が高い。 ・「学校の授業は楽しいですか。（91.2%）」「国語の授業の内容はわかりますか。（95.5%）」「算数の授業の内容はわかりますか。（94.3%）」の設問は、どれも肯定的回答（A・B）の割合が高い。 ・「授業で（勉強）でわからないことがあったら、先生に聞いていますか。」の設問は、肯定的回答（A・B）が78.1%（A回答35.8%、B回答42.3%）であり、やや低い。 <p>【保護者】 ※「（%）」の数值は、肯定的回答（A・B）の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校は熱心に授業に取り組んでいると思う。（91.7%）」「お子さんは、授業の内容がわかっていると思う。（84.3%）」 <p>【児童】【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「（児童の回答）授業でクロムブックを使った学習は、ためになっていますか。」の設問は、肯定的回答（A・B）が97.4%、「（保護者の回答）クロムブックを使った学習は、ためになっていると思う。」の設問は、肯定的回答（A・B）が84.0%であり、とても評価が高い。 ・「お子さんは、宿題（課題）を忘れずにしていますか。（96.4%）」「（児童の回答）宿題を忘れずにしていますか。（94.5%）」の設問は、肯定的回答（A・B）の割合が高いが、「お子さんは、宿題の他にも家庭で自主学習をしていますか。（56.2%）」の設問は、肯定的回答の割合が、やや低い。
<p>改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆今年度の校内研究の成果をもとに、児童一人一台末等のICTを効果的に活用した授業を実践していく。また、児童が主体的に学習に取り組めるように、協働的な学びができるように、授業を工夫していく。 ◆ALTとともに外国語科、外国語活動を行っているが、ALTとの事前の打ち合わせをしっかり行い、より良い授業を行っていく。 ◆毎年、年度始めに、家庭学習の大切さとポイントを示した「家庭学習の手引き」を全家庭に配付している。今後もこの取組を継続し、家庭学習について、学校と家庭が連携して支援し

	ていく。
IV 生徒指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<p>○肯定的回答（A・B）の割合は、96.3%である。教職員それぞれの努力、家庭・関係機関との連携、また、情報を共有し、全教職員共通理解のもと、指導にあたることにより、児童は落ち着いた雰囲気の中で生活ができていると言える。</p> <p>・「あなたは、キャリア教育（キャリア・パスポートの活用、進路指導など）を児童の実態に応じて行っている。」の設問は、A回答よりB回答の方が多い。C回答が3人いる。</p> <p><C回答の人数> 「あなたは、問題行動（いじめ、不登校等）の早期発見、早期対応ができている。」3人 「児童生徒の規範意識をはぐくむ指導に取り組んでいる。」2人 「あなたは、民主的で規律ある学級、学年、学校集団づくりを行っている。」1人</p> <p><将来の夢や希望> ※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合 【保護者】「お子さんは将来の夢や希望をもっていますか。（74.5%）」 【児童】「将来の夢や希望をもっていますか。（87.3%）」</p> <p><規範意識> ※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合 【教職員】「あなたは、児童の規範意識をはぐくむ指導に取り組んでいる。（95.6%）」 【保護者】「学校は、子ども達の間違った行動などに対して、指導していると思う。（86.0%）」 【児童】「学校のきまりや約束ごとを守っていますか。（96.5%）」</p> <p><教師と保護者及び児童の信頼関係> ※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合 【教職員】「あなたは、児童理解のためにコミュニケーションを図っている。（100%）」 【保護者】「お子さんのことで、相談できる先生がいますか。（A回答いる：71.7%）」 【児童】「こまったことがあったら、相談できる先生がいますか。（A回答いる：82.8%）」</p>
改善策	<p>◆「子どもの心を大切にする。」をキーワードに、いじめ、不登校等に対しては、教職員一丸となって、きめ細かな指導、支援を行うとともに、スクールカウンセラーの活用を含め、児童や保護者から相談しやすい体制を築いていく。</p> <p>◆児童が自己を見つめ、将来の夢や希望をもつことができるように、キャリア・パスポートの取組をしっかりと行う。</p>
V 地域との連携について	
達成状況	<p>○肯定的回答（A・B）の割合は95.8%である。保護者を含め、地域と連携しながら教育活動が行われていると言える。</p> <p>・「あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っている。」の設問では、A回答よりB回答の方が多い。C回答も3人いる。</p> <p>・「あなたは、PTA活動に積極的に参加している。」の設問では、A回答よりB回答の方が多い。C回答が4人、D回答も1人いる。PTA新聞、愛のパトロール、奉仕活動の担当教職員は、PTA活動に直接関わることが多いが、担当でない教職員は、PTA活動に関わっていないという意識が低いかもしれない。</p> <p>【保護者】「授業参観や学校開放日などは、子どもの様子を知る機会になっている。（94.2%）」 「PTA活動に参加していますか。（47.4%）」</p>

達成状況	<p>今年度、2年保護者対象の救急蘇生法はコロナ禍のため中止、6年保護者対象の奉仕作業は、雨のため中止となった。授業参観、引渡訓練以外は、主に本会役員（執行部）と地区役員がPTA活動に携わっている現状である。本校では、保護者の負担軽減も考慮し、学年役員、学級役員を選出していない。</p> <p><広報活動> ※「 (%)」の数値は、肯定的回答 (A・B) の割合 【教職員】 「あなたの学校は、学校の教育活動について、たよりやホームページを通して保護者や地域に広報している。(100%)」 【保護者】 「学校(学年・学級)だより、ホームページなどから教育活動の様子を知ることができる。(88.3%)」</p> <p><保護者・地域の声に耳を傾けている。> ※「 (%)」の数値は、肯定的回答 (A・B) の割合 【教職員】 「あなたは、保護者や地域の願いに応えるため、学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報収集を行っている。(100%)」 【保護者】 「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けていると思う。(78.0%)」 (E回答<わからない>8.2%)</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな課題への対応、児童や保護者の多様なニーズに対応するためには、学校と地域の連携は、なくてはならないものである。今年度もコロナ禍のために、地域の人材や施設の利用に制限があったが、今後も地域との連携を深めていくための準備を行っていく。 ◆より良い教育活動を行うためには、保護者や地域住民の意見や要望に、誠意をもって対応し、信頼関係を構築していく必要がある。そのためには、日頃のコミュニケーションを大切にし、情報を発信したり収集したりして、相互の信頼関係を築く努力を続けていく。 ◆必要なPTA活動は、今後も、保護者の協力を求めながら行っていく。
VI 学校の特徴に関して	
達成状況	<p>○肯定的回答 (A・B) の割合は94.5%である。「学校の特徴〔児童会活動、心の教育、みどりの時間(全校集会)〕」について、教職員全体の共通理解が図られ、教育活動が行われていると言える。</p> <p>・「あなたの学校は、みどりの時間の活動が充実したものになるよう、努めている。」の設問は、C回答が4人、D回答が1人いる。</p> <p><心の教育> ※「 (%)」の数値は、肯定的回答 (A・B) の割合 【教職員】 「あなたの学校は、心の教育が充実したものになるよう、努めている。(97.7%)」 【保護者】 「学校は、心の教育に力を入れて取り組んでいると思う。(58.7%)」 (E回答<わからない>21.4%)</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍のため、みどりの時間(全校集会)を実施できないことが多く残念であったが、来年度は、充実した活動ができることを願っている。 ◆毎年、道徳授業参観やみどりの時間に行われる「ちょっといい話(教職員が児童の生活の中で見つけた{いい話}を紹介するコーナー)」を、今後も継続して取り組んでいく。 ◆道徳の授業の様子や日頃の心の教育の取組等、たよりやホームページ等で保護者に伝えていく。 ◆今後も、学校の特徴を生かした教育活動が充実したものになり、児童が生き生きと学校生活を送れるように、全教職員が協力して推進していく。

VII 創甲斐教育について	
達成状況	<p>○肯定的回答（A・B）の割合は96.7%である。「創甲斐教育」について、教職員全体の共通理解が図られ、教育活動が行われていると言える。</p> <p><読書活動> ※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合 【教職員】「あなたは、児童が積極的に読書活動に取り組むよう、指導に努めている。（95.0%）、C回答2人」 【保護者】「お子さんに、すすんで読書するように言っていますか。（49.0%）」 【児童】「朝読書をがんばっていますか。（92.5%）」</p> <p><表現力> ※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合 【教職員】「あなたは、様々な場面、活動において、児童の表現力を高める取組を行っている。（95.0%）、C回答2人」 【児童】「人前でしっかりと自分の意見が言えますか。（75.6%）」</p> <p><体力向上> ※「（%）」の数値は、肯定的回答（A・B）の割合 【教職員】「あなたは、児童の体力向上や健康指導に努めている。（100%）」</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝の10分間読書、定期的な図書だよりの発行、読書週間での「おすすめの本の紹介」等の取組を継続して行っていく。 ◆今後も、授業、児童会活動、いろいろな場面において、表現力の育成を図っていく。 ◆今後も児童の体力向上や健康指導というねらいのもと、体育の授業、縦割り班での遊び、長縄大会等の取組、保健の授業、定期的な保健だよりの発行等、工夫していく。
<h3>3 まとめ</h3> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員自己評価、保護者アンケート、児童アンケートとも、全体的に肯定的に評価されており、学校教育目標、学校経営目標を達成できたのではないかと考える。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目の一つ一つが教職員に課せられた目標であるという認識を確かなものにして、学校、保護者、地域が連携しながら、豊かな教育活動の推進を、引き続き図って参りたい。 	